

令和7年3月31日
さぎそう学舎
世田谷区立九品仏小学校
校長 笛木 毅

前年度の改善方策について実行した改善結果

1 思考力・判断力のある子どもの育成

本校の学校経営方針では、実技教科の充実を重点にしております。
児童が「できた」喜びや粘り強く取り組む姿勢を育む活動を多く取り入れております。今年度は学芸会が開催されました。子どもたちは学年ごとに練習を重ね、セリフの言い回しから体の動き、自分の役になりきって演技している姿は本当に頼もしい限りでした。本校では「実技教科の充実」をねらいの一つにしていますが、学芸会はその中でも演技、音楽、そして学年で作り上げるという点において、その集大成ともいえるのではないかと考えております。舞台はワクワクするところでもあり、心がキュッと緊張するところでもあります。舞台に立つと、もうそこからは逃げられません。頼りになるのは練習してきた自分の力のみです。その力を信じ、今回スポットライトに照らされた舞台に立った子供たちは、練習した自分の役を演じ切り、学年全員で一つの大きな作品を作り上げました。その時のセリフ、歌、踊り、流れていた音楽等、それは、子どもたちにとっていつまでも忘れられない貴重な思い出になったと思います。そして、劇が終わった後の皆さんからの温かい拍手で、子どもたちは大きな満足を得られたと感じています。

2 すすんであいさつをする子どもの育成

本校の伝統の一つでもある「あいさつ」は、ご来校いただく皆様、教職員からも多くのお褒めのお言葉をいただきます。この伝統を、途絶えさせることなく、育てていきたいと思っております。

3 すすんで運動をする子どもの育成

今年度「体育科」の校内研究を進めてまいりました。子供たちが課題を見つけ、その解決に向けて友達と協力しながら学ぶことを大切に、自ら考えて行動する力を育むことを目指しました。その結果、子供たちは運動の楽しさを実感しながら、仲間と意見を交わし、工夫しながら挑戦する姿が多く見られるようになりました。「どうしたらもっと上手くできるだろう」「友達と協力するとこんなに楽しいんだ」という気づきを積み重ね、一人ひとりが自らの成長を実感する機会が増えたことは、大きな成果であると考えています。